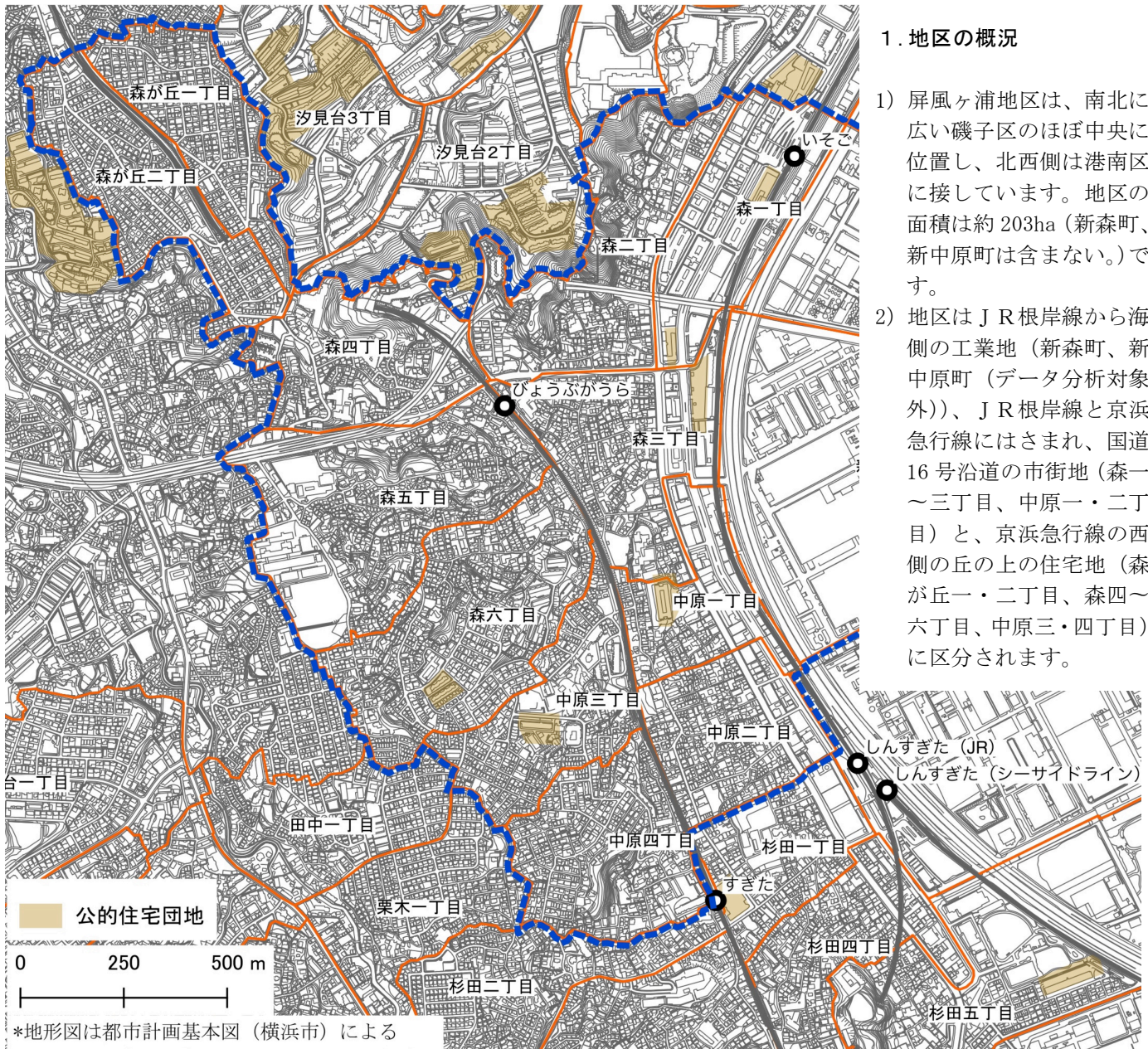


6. 屏風ヶ浦地区

1. 地区の概況

- 1) 屏風ヶ浦地区は、南北に広い磯子区のほぼ中央に位置し、北西側は港南区に接しています。地区の面積は約 203ha（新森町、新中原町は含まない。）です。
- 2) 地区は J R 根岸線から海側の工業地（新森町、新中原町（データ分析対象外））、J R 根岸線と京浜急行線にはさまれ、国道 16 号沿道の市街地（森一～三丁目、中原一・二丁目）と、京浜急行線の西側の丘の上の住宅地（森が丘一・二丁目、森四～六丁目、中原三・四丁目）に区分されます。



●人口・世帯数の概要

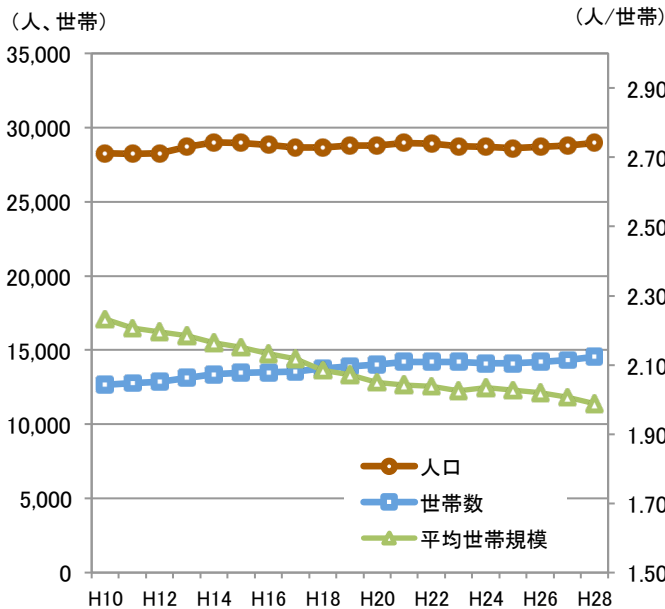
	平成18	平成23	平成28	平成18 ～23年	平成23～ 28年	平成23 年比率 (%)	平成28 年比率 (%)	平成28年 区平均比 率(%)	平成28年 市平均比 率(%)
人口 (人)	28,651	28,763	28,944	112	181	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14歳人口 (人)	3,142	3,158	3,105	16	▲ 53	11.0	10.7	12.0	12.7
（内0～5歳） (人)	1,227	1,252	1,248	25	▲ 4	4.4	4.3	4.9	4.9
15～64歳人口 (人)	19,396	18,719	17,958	▲ 677	▲ 761	65.1	62.0	61.4	63.7
（内20～24歳） (人)	1,594	1,397	1,428	▲ 197	31	4.9	4.9	4.8	5.1
（内25～39歳） (人)	6,603	5,919	5,277	▲ 684	▲ 642	20.6	18.2	17.9	18.5
65歳以上人口 (人)	6,113	6,886	7,881	773	995	23.9	27.2	26.6	23.6
（内65～74） (人)	3,364	3,454	4,017	90	563	12.0	13.9	13.8	12.4
（内75歳以上） (人)	2,749	3,432	3,864	683	432	11.9	13.3	12.8	11.2
世帯数 (世帯)	13,748	14,198	14,559	450	361				
平均世帯規模 (人/世帯)	2.08	2.03	1.99					2.10	2.13

*「町丁別世帯と男女別人口」「町丁別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在

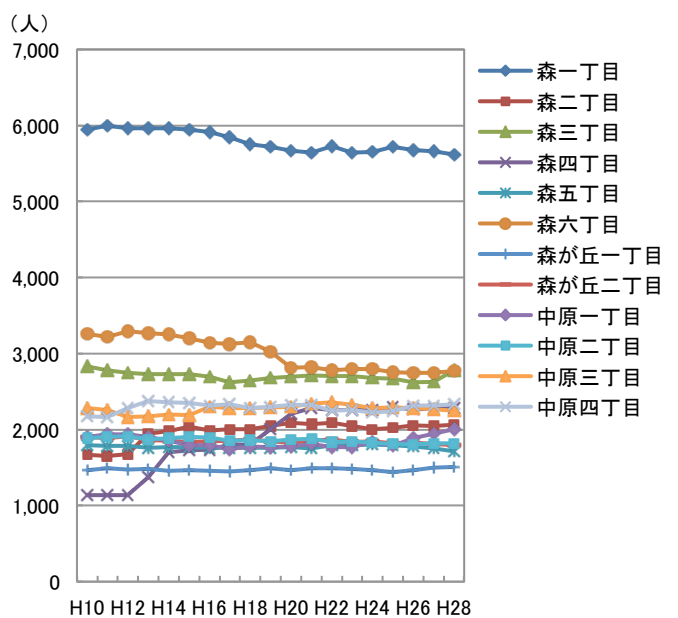
- 3) 人口は約 28,900 人で、近年は概ね安定しています。人口密度は 141.9 人/ha で、滝頭地区とともに高くなっています。
- 4) 世帯数は約 14,600 世帯で、緩やかな増加傾向にありましたが、近年、安定化する傾向がみられます。
- 5) 平均世帯規模は、1.99 人/世帯（区平均は 2.10 人/世帯）で縮小傾向が続いています。屏風ヶ浦地区の平均世帯規模は、根岸地区(1.95 人/世帯)に次いで二番目に小さくなっています。
- 6) 高齢者（65 歳以上）の比率は 27.2%、75 歳以上の高齢者の比率は 13.3%。いずれも区の平均を上回っています。年少人口（0～14 歳）はやや少なめ、生産年齢人口（15～64 歳）はほぼ区の平均水準です。全体として区の平均に近い年齢構成になっています。

- 7) 年齢 5 歳階級別人口の推移率をみると、屏風ヶ浦地区には、根岸地区、汐見台地区とともに、20 歳代前半の年齢層が転入増加する傾向があります。地区には、JR 根岸線磯子駅、京浜急行線屏風浦駅があり、京浜急行線杉田駅、JR 根岸線とシーサイドラインの新杉田駅が近接しています。鉄道駅が 5 駅あること、民間の賃貸住宅が多いこと等が、20 歳代の若い就業者が転入増加する要因になっていると考えられます。

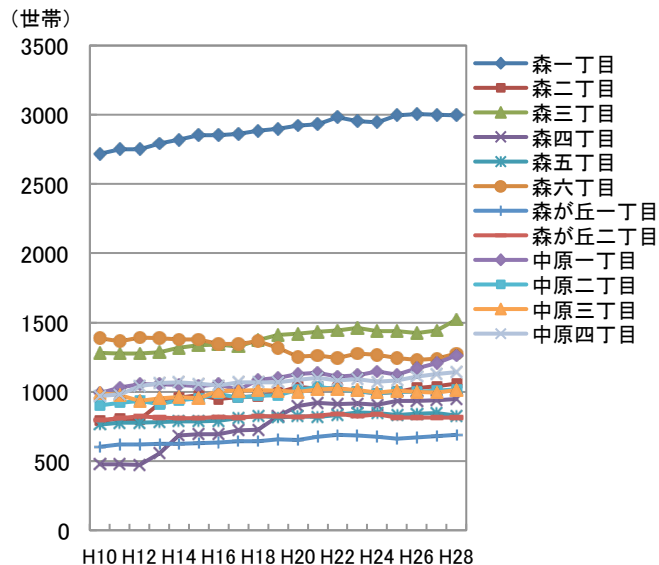
●地区の人口、世帯数の動向



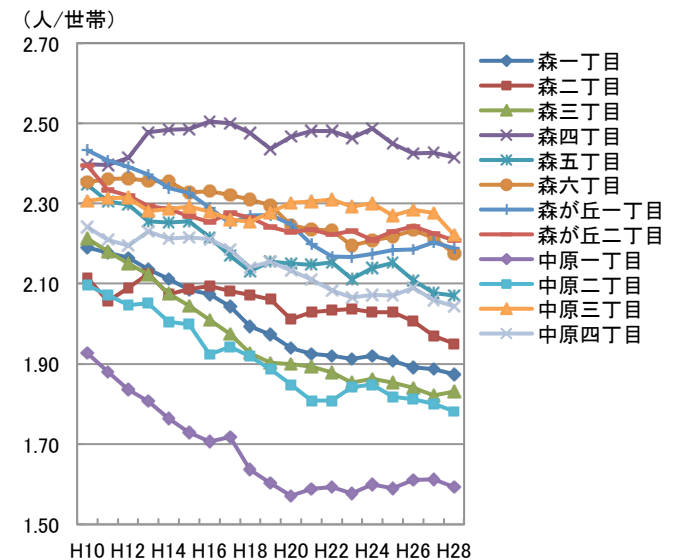
●町別・人口の動向



●町別・世帯数の動向



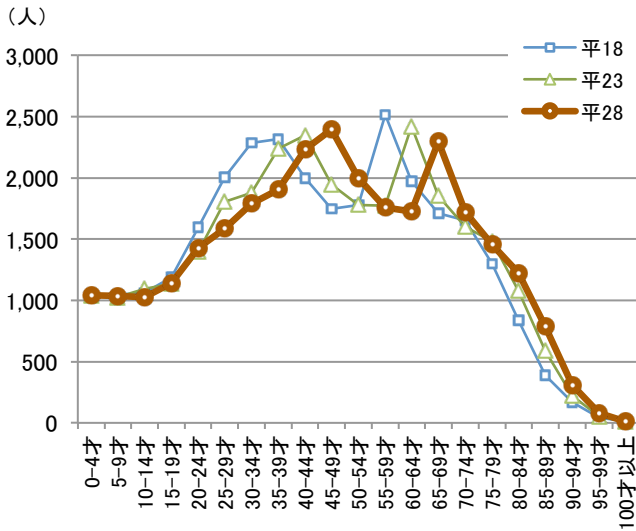
●町別・世帯規模の動向





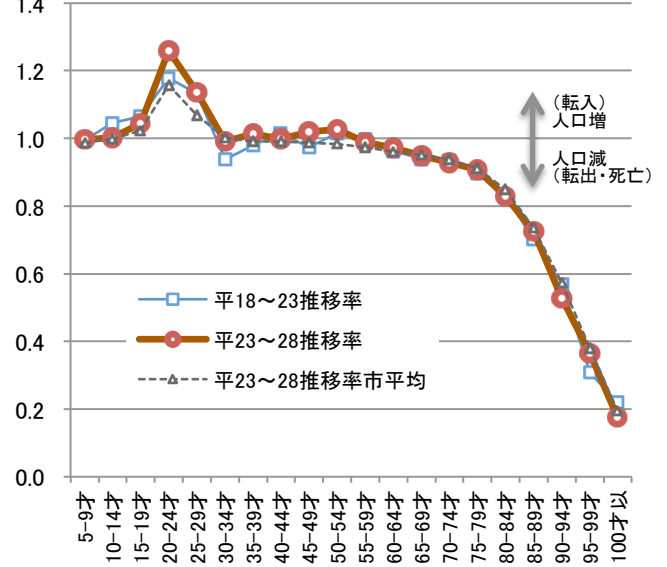
*都市計画基礎調査結果 平成25年(横浜市建築局)を活用した

●年齢5歳階級別人口の変化



*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

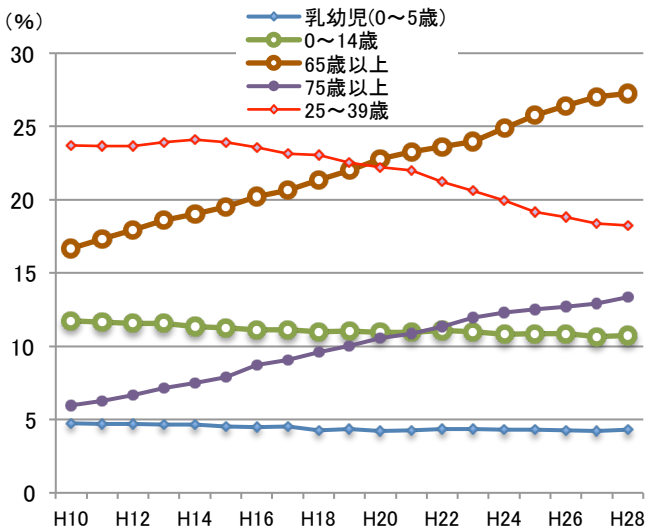
●年齢5歳階級別人口の推移率



*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

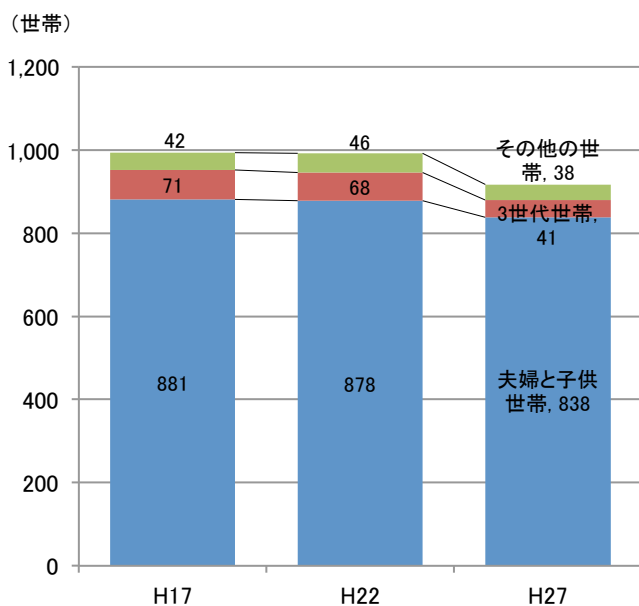
*推移率：この場合は、年齢の5歳別人口が、死亡、転出入によって5年後にどう変化するかをみる指数。現在の5歳階級別の人口÷5年前の5歳若い5歳階級の人口

●乳幼児・高齢者比率等の動向



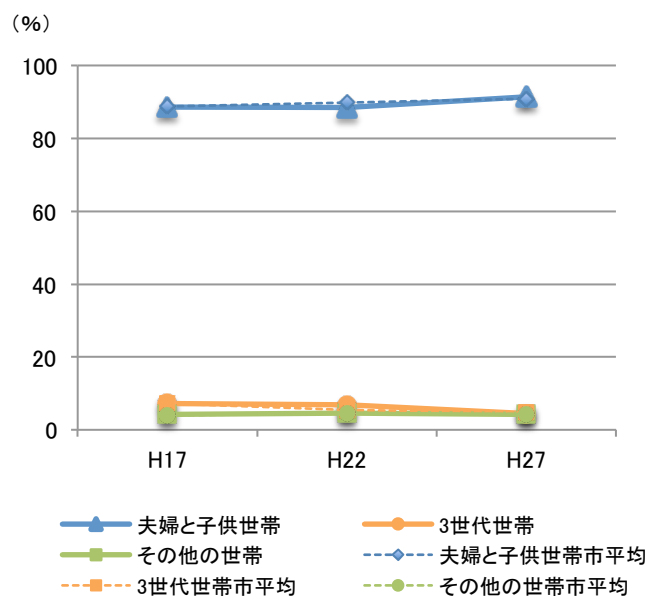
*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

●6歳未満の子どもがいる世帯の動向



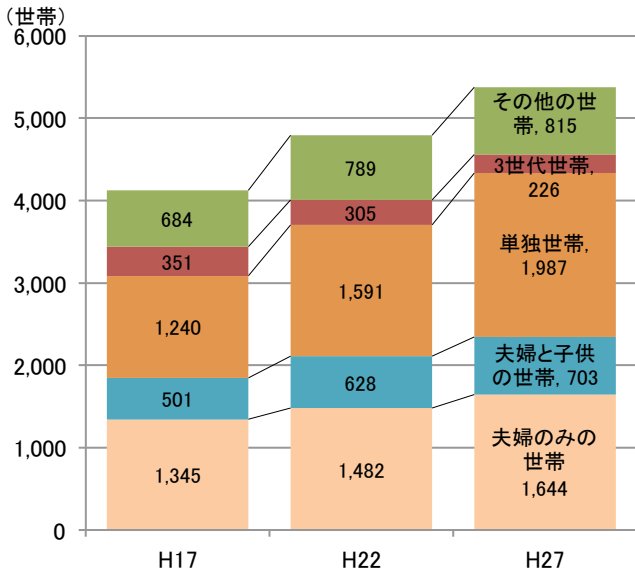
*各年「国勢調査」による

●6歳未満の子どもがいる世帯の比率

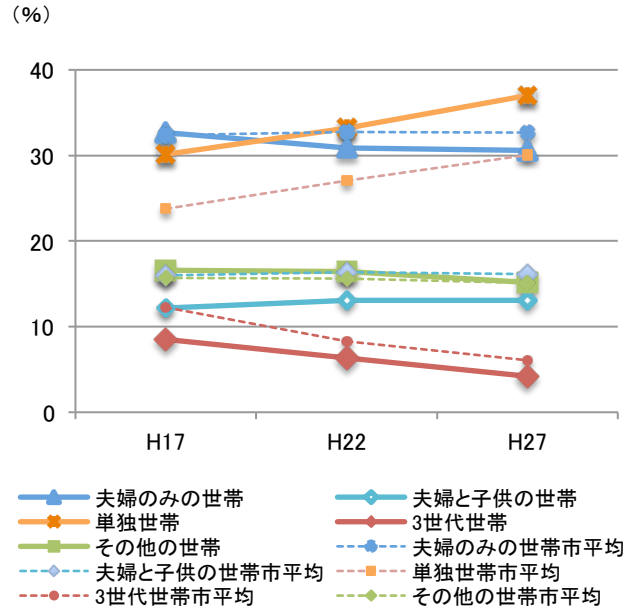


*各年「国勢調査」による

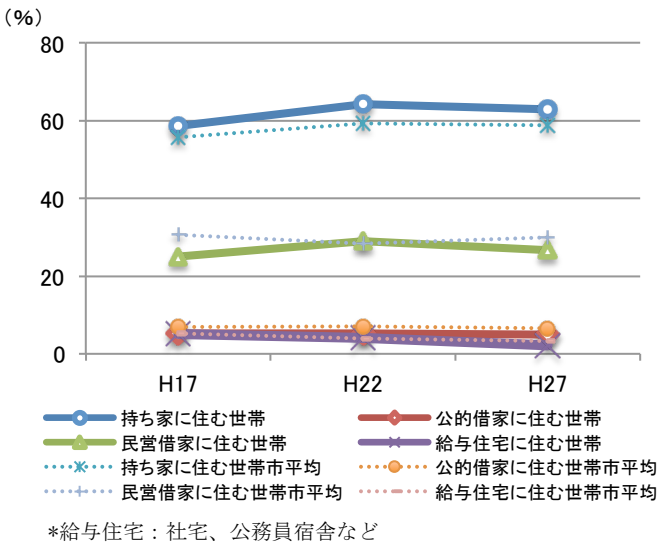
●高齢者 65 歳以上がいる世帯の動向



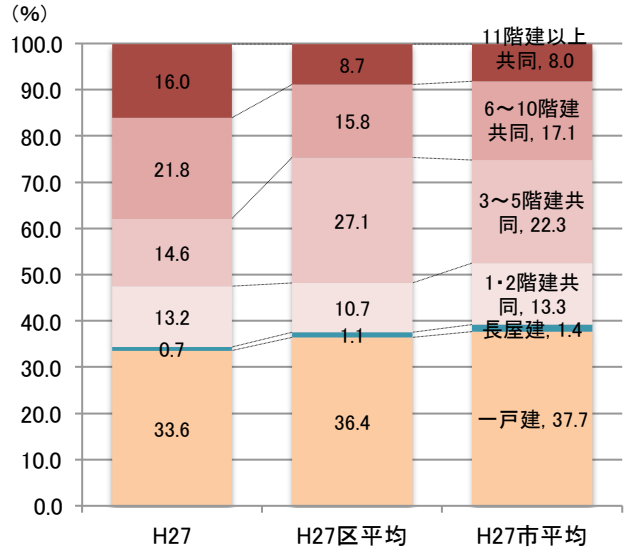
●高齢者 65 歳以上がいる世帯の比率



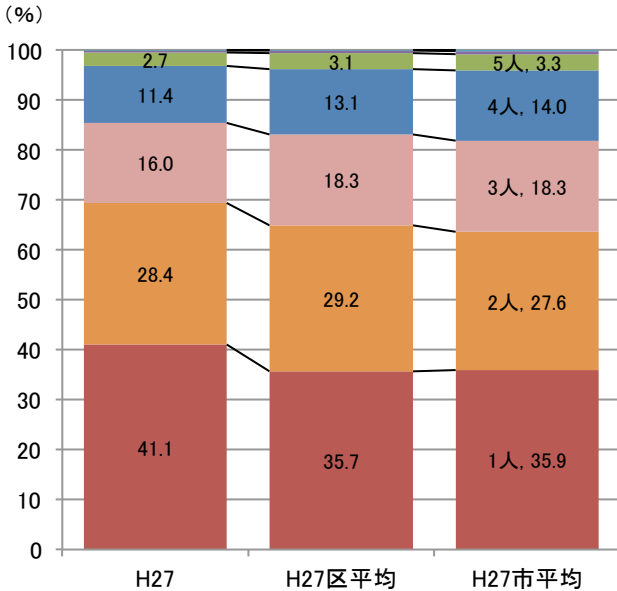
●住宅の所有関係別世帯の比率



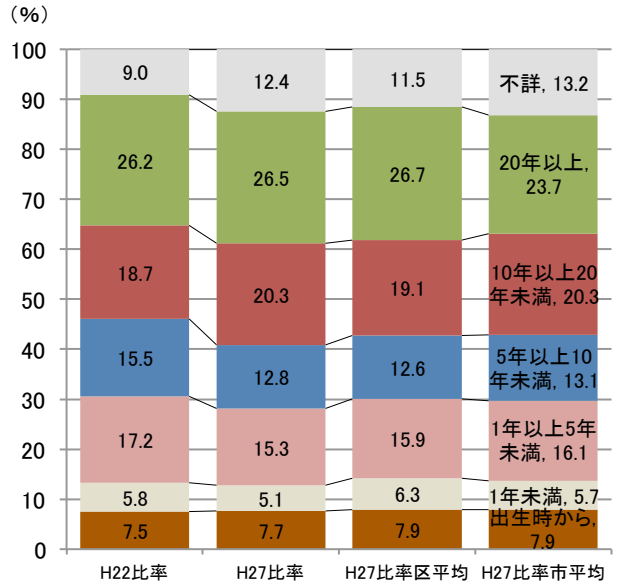
●住宅の建て方別世帯の比率



●規模別世帯の構成



●居住歴別人口の比率



2. 地区の居住者特性

2.1 3階建以上の中高層の共同住宅居住者が多い国道16号沿道の市街地 - 森一～三丁目、中原一・二丁目

- 1) 国道16号沿道の市街地は、いずれも人口密度が高く、100人/haを超えています。特に森一丁目では、6階以上の高層共同住宅に居住する世帯の比率が97.9%を占め、密度は372.2人/haに達しています。この他、中原一丁目も、6階以上の高層共同住宅に居住する人の比率が70.8%と高くなっています。
- 2) 20歳代前半を中心に20歳～34歳が転入増加する傾向がみられます。また、人口は安定または緩やかに減少しています。
- 3) このうち森一丁目は、団塊の世代が多く、高齢化率(35.2%)、75歳以上の人口比率(17.5%)がともに高く、高齢者、75歳以上の高齢者の増加数や増加率も高くなっています。

2.2 高齢化が進む丘の上の戸建て住宅を中心とした住宅地 - 森が丘一丁目・二丁目

- 1) 戸建て住宅が中心で、低層の共同住宅(アパート)も混在している住宅地です。
- 2) 高齢化が進んでおり、森が丘一丁目29.9%、二丁目29.4%と高くなっています。75歳以上の高齢者の比率は、森が丘一丁目16.3%、二丁目15.9%と高くなっています。
また、**高齢の単身世帯の比率はそれ程高くないものの、高齢の夫婦のみ世帯の比率は高くなっています。**国勢調査の結果によれば、世帯の総数に対する高齢の夫婦のみの世帯の比率は区の平均で12.8%となっています。森が丘一丁目17.7%、二丁目15.3%と区の平均を上回っています。
- 3) 人口や世帯数は比較的安定しています。

2.3 駅に近くマンションの立地が進んだ住宅地 - 森四丁目

- 1) 京浜急行屏風浦駅に近く、マンション等の建設が進んだ結果、人口や世帯数が増加し、30歳代、40歳代が多く居住するようになっています。
- 2) 3階建以上の中高層住宅に居住する世帯の比率が62.1%と高く(区平均は51.6%)、持家の世帯比率も84.4%と高くなっています(区平均は65.4%)。

2.4 成熟が進んだ丘の上の戸建て住宅を中心とした住宅地-森五丁目・六丁目、中原三丁目・四丁目

- 1) 戸建て住宅中心の住宅市街地です。中原三～四丁目では、低層(1,2階建て)の共同住宅(アパート)や中層(3～5階建て)の共同住宅(マンション)もみられます。持ち家に住む世帯の比率はどの町も70%前後と高くなっています。
- 2) 全般に年齢のバランスがとれています。交通の利便性が良い(駅が比較的近い)地区で、成熟が進んだ地区です。
- 3) 森五丁目では人口、世帯数がともに緩やかに減少する傾向がみられますが、他の町では安定した状態が続いています。

2.5 現在は人口や世帯数が安定しているが、今後は、20歳代前半の世代や子育て世代の転入増加の沈静化、高齢者の増加により人口の減少が進む

- 1) 屏風ヶ浦地区では、これまで20歳代前半の転入増加がありました。また、これまではマンションが建設されれば子育て世代の入居がありました。
現在の傾向が続けば、人口、世帯数が安定した状態が続きます。しかし、横浜市全体でも、今後、20歳代前半の世代や子育て世代(25～39歳)が減少していくものと考えられており、屏風ヶ浦地区でも、若い世代の減少に伴う影響は出てくる可能性があります。
- 2) 年齢5歳階級別人口の動向をみると、今後、高齢者の増加傾向は鈍化します。75歳以上の高齢者は当面10年間程は増加し続けると考えられます。